

令和4年8月

# むつみ愛 i



六ツ美西部小学校  
校長室だより

ホームページ掲載用通信

## 2学期開幕！ 心の醸成を図ります

8月29日、2学期が始まりました。新型コロナウイルスは形を変えながら多くの日本国民に忍び寄り、新規感染者数は世界一です。本校も欠席者は決して少なくありません。今後の感染者の推移から来週の授業参観の有無も変更する可能性があります。学芸会の持ち方も同様です。しかし、早々と中止とすることは児童にとって最良とは思いません。児童の自己有用感、達成感の拡充を大切に前に進みつつ、状況に応じた進路変更も考慮してまいります。保護者の皆様、学区関係の皆様には、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



### 徳川家康公、「ふるさと岡崎」に対する関心と愛着を高める

松本潤さんが主演を演じるという報道から、令和5年度のNHK大河ドラマ「どうする家康」が話題になっています。町のいたる所に幟や看板、ポスターが設置され、岡崎市も地域の活性化に向けて積極的に動いています。本学区は家康に仕えた本多作左衛門に焦点を当てた活動を積極的に手掛けています。こうしたところからも、本校も2学期に地域教材を積極的に取り入れた教育活動を展開しようと1学期に学区の総代さんに、少しではありますが声をお掛けしました。

3学期には「ジュニア家康公検定」があると聞いています。6年生を中心に多くの児童の参加ができるいいと思っています。そこで、始業式で児童には話しましたが、定期的にテレビ放送を使って「徳川家康公」に関わるお話をしたりクイズを出したりして、児童の意識を高めようと準備をしています。

徳川家康公というと、晩年をすごした駿府、幕府を開いた関東地方に目が向けられ、生誕の時代、今川氏の人質生活から解放されて豊臣秀吉に関東に国替えされるまでの短い期間をすごした岡崎は軽視される帰来があります。徳川15代の礎を築いた松平氏の歴史をひも解き、児童に三河武士の心意気を伝えると共に「ふるさと岡崎」を大切にする心の醸成を図りたいと思います。どんな展開となるか、ご期待ください。